

ひだまり

ISO9001:2015 認証機関



日本認知症ケア学会認定施設

岡山ひだまりの里病院 広報紙

第117号

2023年5月発行

発行責任者 藤田文博



今年の3月は例年よりも暖かい日が続き、あっという間に桜の季節がやってきました。ひだまりの桜の開花は後楽園よりも早い3月20日。1週間後には満開を迎えました。デイケアでのお花見は4月3日。花びらが舞う中、温かい陽射しを浴びながらの開催となりました。

かおる春のひととき

デイケアお花見

桜以外に花桃やチューリップが咲く中庭でのお花見。綺麗な花々と共に、利用者さんと一緒に作った手作り提灯で、華やかさが増します。大正琴による「さくらさくら」や「ふるさと」などの演奏で、懐かしくも心に響く曲を聴きながら、春らしい和菓子とお抹茶や緑茶をいただきました。

「気持ち良いわね」や「お菓子の甘い」と、お抹茶の苦いので良いわね」とゆっくりにお茶を楽しみながらお花を眺める人、大正琴の演奏に聞きほれる人、久しぶりにお抹茶を点てて「裏千家をやったんよ。お作法はこうだったかな」とちょっと照れながら教えてくださる人と、それぞれにお花見のひと時を楽しみ春を感じていました。

作業療法士 三浦麻衣子



今年も玄関前の桜は見事に咲き、みんなの目を楽しませてくれました。





コーヒーの香りと笑い声

こおり銀座の今 <支えあう地域づくり>

毎月第4月曜日に行っている認知症カフェ「こおり銀座」。4月24日も感染対策をして開催しました。この日、私は少し遅れての参加となりました。遅れたからこそ、気付けたことがあります。こおり銀座の玄関に立つと、コーヒーの深い香りが私を出迎え、室内からは、みんながいつものように大笑いし、談笑する声が聞こえていました。「これこそが、立ち上げ時にみんなで思い描いていたカフェだ。地域の人も含めて、みんなで協力し合っこの場を作り上げてきて良かった」と感じました。



こおり銀座では、10分程度のミニ講座をしています。4月は「適切な食事について」の講座を行いました。



2月の講座では「阿津でのまちづくりの取り組みについて」紹介しました。
(4面に関連記事を掲載しています)

【お問い合わせ先】

岡山ひだまりの里病院

Tel.086-267-2011 (担当：加嶋)

林友の会

Tel.086-272-2957 (担当：頭師)

「こおり銀座」は「認知症のあるなしに関わらず、地域の中で互いに支え合える関係作りを」を目的に、2019年、地域の人たちや林友の会(※)と共同で立ち上げました。

今では、カフェ参加者がお互いのことを気にかける様子をよく目にします。カフェの立ち上げから深く関わって下さっている地域住民の森さんは「病気のあるなしに関わらず、子どもも含めて、お互いに支え合おうと思える地域作りが大切」と、仰られています。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、これまで以上に地域住民の関係が希薄になってきた昨今。みんながつながり合い、支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、これからも「こおり銀座」の活動を継続していきます。

地域生活支援部長 加嶋 夏代

※ 林友の会とは、

患者さんやご家族の生活、そして地域の方の生活が充実したものとなるよう、こころの健康づくりにつながる様々な活動を行っています。その一つに認知症カフェ「こおり銀座」があります。

認知症看護・ケアを考える

2023年度 看護部の取り組み



2022年度は、新型コロナウイルス第7波・第8波の流行下においても、入院患者さんが1名も感染されることなく、入院療養を送り続けたことに大変安堵しています。職員が医療従事者として自覚ある行動があったことと、ご家族様、また地域の皆様の多大なるご協力・ご配慮がありましたことを、深く感謝しています。

今年度、看護部では感染対策は継続しながらも改めて、「認知症看護・ケア」を中心とした取り組みを行っていきます。4月より導入しました見守り介護ロボット『aams』により、患者さんの安全と、身体的観察の両面からのアプローチを。学習面では、認知症VR体験を全職員が行い、認知症患者さんの思いに、今まで以上に寄り添った看護・ケアを行っていきたいと思います。

看護部長 國分 祐子



新しく面接室ができました

この度、初めて当院に診察で来られた際に使用する面接室ができました。初めて受診をされる時は「私たちの困りごとをちゃんと聴いてくれるだろうか」と不安や緊張を抱きながら来院されることと思います。

当院では、医師の診察の前に精神保健福祉士が、患者さんやご家族と面接をします。どのような困りごとを抱えて受診に至ったのか、患者さんのお気持ちに寄り添いながら聞き取りをさせていただきます。面接を行う際、この度できた面接室で、プライバシーに配慮しながら行っています。安心して、来院いただけたら幸いです。

精神保健福祉士 馬井 美穂



新型コロナウイルス感染予防のため撤去しておりました「図書コーナー」を面接室の入口に設置いたしました。

当事者の方の書籍に出会う事で希望を持てるように、また介護するご家族も認知症の当事者の思いにも触れる事ができれば介護のヒントになるのではと思い設置しております。

当院にお立ち寄りの際は、ぜひ、手にとって当事者の方が発信する『希望』に触れて頂きたいと思います。

VRで認知症の世界を体験 4回目の『カモメ朝市』



2023年3月19日、『カモメの集まる小さな港町の阿津』で、4回目となる「カモメ朝市」が開催されました。この朝市は、岡山市南区小串学区再生プロジェクトの一環として、空き家の跡地を活用し、地域を元気にしようという目的で行われています。今回は40店の出店があり、来場者は2,500名にもなり大いに賑わいました。当院も出店。「VR（バーチャルリアリティ）での認知症体験」と「医療介護なんでも相談」を行い、10代～70代と、幅広い層から参加していただきました。



VRは、認知症の人の世界を、様々な視点で体験できます。今回は、バスから降りる際の段差が、まるでビルの上から飛び降りるかのように感じてしまう恐怖感や、本来見えるはずのないもの（幻視）が見えてしまうという体験です。「認知症の人がどのような体験をしていたのか少しでも知ることができて良かった」「怖かったけどいい体験だった」と好意的な感想をいただきました。VRを通じて、認知症について興味を持っていただけたのではないかと思います。

次回の阿津地区の取り組みは、夜市を7月に計画しています。興味のある方はぜひ参加して下さい。

作業療法士 宮城 健一

お知らせ

新型コロナウイルス感染症 5月8日以降の当院の対応について

新型コロナウイルス感染症は、5月8日以降から感染症法上の分類が2類からインフルエンザと同等の5類に移行します。

しかしながら、当院では「重症化リスクの高い高齢者が多く通院・入院していること」から、受診の際には、本人・同伴者とも引き続きのマスク着用と検温、手指消毒、所定のチェック表の記入をお願いします。

また、入院患者様のご面会はアクリル板越しでの面会を継続します。

ご理解・ご協力をお願いします。

ごあんない

岡山ひだまりの里病院

〒702-8012

岡山市南区北浦822-2

電話 086-267-2011 FAX 086-267-2013

ホームページ <http://hidamarihayashi-dorin.or.jp/>

《外来》

診療日時：月曜～金曜
9:00～12:30

*予約制です。まずは
お電話でご予約下さい

《認知症デイケア》

実施時間：月曜～土曜
9:30～15:30

(日曜・年末年始はお休み)

相談員、看護師、作業療法士による訪問看護を行っています。詳しくはお電話下さい。

無料低額診療事業を実施しています。
医療費でお困りの方はご相談ください。
入院中の差額ベッド料はいただいております。